

昭和62年度入学式・厳粛に挙行



新入生は665人

藤原達雄 学長告辞

昭和六十二年入学式は四月十日、新入生六六五人を迎えて、厳粛に挙行された。ここに藤原学長の「告辞」を全文掲げ、初心忘るべからずの範としよう。

世界の物指しで判断する国際性と 幅広い人間形成の努力を

このたび晴れて大同工業大学入学の希望を遂げられた六六五名の諸君、並びに委託生として入学を認められた六名の諸君に対し、心からお祝いと歓迎の意を表します。



希望に溢れる諸君を迎え、ここに、学園の金谷理事長先生ならびに多数の来賓の二列席をえて、大同工業大学昭和六十二年入学式を盛大に挙行します。誠に欣快に存するところであります。

致し、感謝の気持を以て、今後ともその期待にこたえるよう努力されることを希うものであります。さて、諸君は今日まで、いつも心の中に受験という重荷を背負って来られました。

新キャンパス

大同工業大学 〒457 名古屋市南区大同町2-21 TEL (052) 612-6111(代) 編集 大同工業大学 企画広報

主な記事

- 「大同工業大学」創刊によせて 1. 2. 3面
藤原達雄学長入学式告辞 1面
入試―過去最高の志願者数 2面
まだまだ続く混迷入試 2面
就職は100% 3面
リクルートからアドバイス 3面

創刊によせて

一般的な傾向として、理科系の大学は、近年、どこもむつかしくなっている。その中でも、特に難化した大学のひとつが大同工業である。

なぜそんなに変化しのか。特に入試の方法や科目を変えられたわけでもない。従来からの推薦、特奨、一次、二次の四本立の選抜方法は不変である。

発展性と魅力に満ちた 大同工業大学



仲々その考えは発展しないものであります。人との話し合い、議論というものは、自分の思想を展覧させ、視野を広げるのに非常に重要な訓練の機会でもあります。



愛知県公立高等学校長会 進学指導部会長 鶴田 功 (一宮西高等学校長)

最新の施設、設備の充実「国際的な視野を身につけた技術者の育成」等々の内容は、どれひとつを取っても時代に即応しており、今後の大学教育にとって欠くことのできないものなのである。

でも判ります。教室に於ける授業でも、諸君が完全に理解しようとするは、単に講義の聞き放しでなく、納得の行くまで質問する心懸けが大切です。友人との話し合いでも、単なるムード的な言葉のやりとりには止まらず、知ること、心に止まらざるなら、いかにまで高められるならば、それは新たな発想を生み、創造の源ともなります。



大学の学内新聞「大同工業キャンパス」をここに創刊できましたことは、誠に意義深いものがあります。



木造二階建の旧大同製鋼の建物を利用した、大同工業短期大学(第一期生として私が入学したのは昭和三十三年の春)で。

新入生は百名に満たず、毎日顔を合わせる学友は同じく学内のムードは高校生活の延長で、勿論先輩はいず、自信を持ってリターンシップをとれる者がいないため、すべてが手さくりの状態でした。希望して入学したとはいえ、「えらい大学へ入学したもんだ。」というのがいつわらざる気持で、あの日々からも二十五年の星霜を経ました。

その後、大学・学園本部のご努力で、鉄筋五階建の本館を始め新校舎の増設・建設工学科・応用電子工学科の増学科等がつつき、その発展は目を見張るものがあり、すっかり大学らしくなりました。



### 後輩へ贈る言葉

大同工大同窓会も昭和六十二年四月で会員数が八千名に近づき、あと数年で一万人を越す状況で、今年の十一月には同窓会創立十周年記念事業を盛大に行なうはこぼれまわっています。同窓生は全国各地の産業界で経営のトップ・中堅幹部・若手技術者として力強く活躍しています。助教、講師、助手、事務職員等として、母校の発展に献身的な努力をばらまいています。

このような成長過程のなかで、学生生活を満喫できる後輩の姿を見たいと、嬉しむがこみあげています。私も五年前、十五年間のサラリーマン生活は終りを告げ、現在、中小企業診断士、社会保険労務士として、約二十社の経営のお手伝いをさせていただいて

ています。お手伝い企業の業績は、トップを始め全社員が努力で順調に推移していますが、現下の経済状況から厳しきはひとしおです。この厳しさの一端を、過去をふり振り返り述べてみたいと思います。私の卒業した昭和四十二年は、丁度現在の韓国と同様な状況で、高度成長もつたなから、多少の例外はありましたが、産業界は一年を過ぎますと、高度成長のなかでもはやされた年功序列、終身雇用根ざす日本の経営は過去のものになりつつあり、新しい企業経営の形を作っていく必要はない状況となつてい

ます。もう一つ気がかりな事は、西欧の約二倍のスピードで進んでいる人口の老化化で、生産年齢人口の減少は、今後現在と異なり分業という企業風土を形成していくと思われ

## 次代の日本は世界の技術研究開発をその輝かしい主演ともて常に自己啓発を

同窓会会長 新美 一博



ほとんどの企業が、一歩前進し生活は着実に向上してしまいか。一昨年から始まった急激な田高で輸出主導型の造船、鉄鋼、自動車、工作機械、家電等の業界は大変な苦況に陥つてい

っています。世界をほった遺船業界は今、虫の息です。鉄は国家がこみあげています。私も五年前、十五年間のサラリーマン生活は終りを告げ、現在、中小企業診断士、社会保険労務士として、約二十社の経営のお手伝いをさせていただいて



## 就職

### 就職は100%

#### 早期の準備と積極的な行動を

人を説得する話術も持っていないし、営業の仕事は、無理だと判断したので、製造の技術者となるよう説明し、納得したので、その方面の企業へ応募することにしました。

「自分の目標は三年次生の後半には考え始め、四年次生になつた4月までは、決定しておく必要がある。それが決まらなかつたので、初めに就職活動のスタート・ラインに、立つことが、出来るのである。」

昭和六十一年度の卒業式も終わった翌日、三月二十六日、ある卒業生A君の実家へ電話をした。

### リクルートからアドバイス



就職情報の提供を通じて、企業と学生との間のパイプ役を果たしている小社の立場より、昨年の就職戦線の特徴をふり返ってみると、大きく三つのことを挙げることで、第一に田高不況、第二に就職協定の改正、第三に男女雇用機会均等法の施行で

時1ドル240円前後だったのが、今年4月には1ドル130円に突入するといふ急速な勢いで進行し、その結果輸出関連企業が大ダメージを被るといふ事態を引き起こしました。特に自動車産業をメインとする東海地区の製造業は、深刻な事態

「では、明日、大学で相談しよう」ということで、翌日に大学の就職指導室で、約三時間におわたって話し合つた。

に直面しているというのが現状です。この田高不況のもとで昨年の就職戦線が推移したわけですが、当初「技術系の学生は青天井で採用する」と公言していた大手メーカーが「優秀な学生が来れば採用する」といふふうにとんたくンしたのをはじめとして、採用の内々定した時期は、八月末日、三十六%、十月末日、七十一%であった。六十二年の特徴は、応募から内々定までの日数が、三週間、従来の二週間より長くなつた。これは、採用側が、採用決定で、慎重審議し、良い学生を採用しようとした結果と思われる、この傾向は、六十二年でも、一層、強くなると思われる。

### 昭和62年度 卒業予定者数 (出身県別)

出身県	機械	電気	土木	建築	合計	%
岐阜	31	17	8	5	61	12
静岡	29	18	11	7	65	13
愛三	80	50	23	16	169	34
静小	13	15	6	7	41	8
三小	153	101	48	35	337	(67)
栃群	1	1	1	1	1	0.2
埼群	2	1	1	1	2	0.4
神奈	1	3	1	1	2	0.2
新富	3	1	1	1	3	0.6
石長	5	1	1	1	5	0.6
福長	2	1	1	1	2	0.4
滋京	2	2	1	1	2	0.4
大兵	2	2	1	1	2	0.4
奈鳥	2	1	1	1	2	0.4
島岡	2	1	1	1	2	0.4
山徳	1	1	1	1	1	0.2
香高	1	1	1	1	1	0.2
福鹿	1	1	1	1	1	0.2
鹿沖	1	1	1	1	1	0.2
タ合	217	151	71	62	501	100

六十二年の就職活動) 六十二年の卒業予定者は、機械工学科百十七名、電気工学科百五十一名、建設工学科百三十三名で合計五百名ある。出身県別に見ると、左表の如くで、東海四県で、六十七%も占めている。



一方、求人数も、六十一年の場合で、東海四県で五十二%であるが、北陸、四国九州は少なく、各々六、四%である。しかし、東海四県の中でも、企業の少ない、岐阜、三重県は、共に三%であり、求人倍率は、各々四、六倍に低下しています。

### 企業等の個別訪問開始 本年は9月5日から

#### 行政

就職協定遵守で短期決戦に 次就職協定について、昨年の就職協定に改正され、8月20日会社訪問、会社説明が解禁となり、主要大手企業113社が就職協定遵守懇談会を結成

#### 事業推進課長 山田

による技術的なニーズの高まりと、理系的発想をとり入れることにより社内を刺激しようといふ考えより生まれたいものと考えられます。大学推薦はメーカー中心で出されている現状の中で、この現象は技術系の学生の非メ

#### 事前に十分な企業研究を

今年昨年の反省をもととして、8月20日、企業等の説明開始(個別対応一切不可) 9月5日、企業等の個別訪問開始(内々定可)実質選考開始 10月15日、採用内定開始として、改正され、就職協定遵守懇談会を結成し、協定が守られるよう、より厳しくチェックされます。となれば今年の動きは一般には、9月5日を境として一斉に選考が行なわれるということに

#### 以上、いろいろと述べて参りましたが、今年田高の影響で就職戦線が、オイルショック以来徐々に厳しくなること、就職協定の再改正により活動の方針が立てにくいことなど、様々な不安要素があり、提供などを通じて四年生のみならず就職活動をバックアップさせていきます。御健闘をお祈りいたします。

# アメリカ短期留学

第9回は'87年7月28日～8月20日



夏休みを利用して約三週間のアメリカ短期留学は、生き生きとしたアメリカを、しかも観光で大学の施設設備などが自由に利用できる。またオレゴン大学の夏季セミナーや教授との交流が学べる研修として、本学の夏の恒例となっています。今年七月二十八日から八月二十日までの期間で、国際交流委員長の手口壽男助教授を団長に八名の教職員が随行します。参加学生数は五名、そのうち女子学生は四名と過去最高の参加数です。

旅程は一路サンフランシスコから姉妹提携校オレゴン大学のあるユージンへ。この地で八月十日まで滞在し、その間はオレゴン大学学生証が交

付され、学生寮に宿泊し、同大学生と同資格の待遇をうけたアメリカを、しかも観光で大学の施設設備などが自由に利用できます。またオレゴン大学の夏季セミナーや教授との交流が学べる研修として、本学の夏の恒例となっています。今年七月二十八日から八月二十日までの期間で、国際交流委員長の手口壽男助教授がオレゴン大学より授与されます。

次いで第九回の今季はじめての訪問地カナダへ。雪上車にてコロンビア大氷原の研修などを経て、バンクーバーからビクトリアへ。

シアトル・ロサンゼルスを経て八月二十日の成田着まで、盛り沢山の行事や研修が組み込まれています。

## 学術交流と友好親善



大学祭は年一回の最大のイベント。学生を始め、教職員、一般の人々……など、多くの見られ、この日は午前中の授業が終れば、学生も教職員も一緒にタタタッが飲めることや、他にもクラブのタキシードや、手合いにきてくれた女の子がかわいかったり……など、ルンルン気分がみなぎっていました。

十日(日)は名古屋市の名物にもなっている注目の仮装行列です。二十数台のマスコットが市内の中心、白川公園を出発地として栄町辺をわり歩き、買い物客の目をひいていました。

キャンパス内ではコンパレ、音楽大会と称するウォークラリーと麻雀大会を開催。特に女子大生が多数参加するダンスパーティーは日頃の女子学生不足を解消せんがためにも絶好のチャンスと大に盛りあげた後夜祭

サートの開演。大同大学祭のコンサートは安いこと有名というわけで、今年も友達や彼女連れで盛況の入り。18時とは思えないビッグなステージの夜は入場無料のオールナイトビデオ。夕五時から翌朝五時まで、過去の名作映画を二

夕風の吹く四時から始まった後夜祭。中部地区で一番大きい規模を誇るキャンパスファイヤーに火がつけます。それは青春のエネルギーが一点に燃えあがる一瞬。華やかに、高らかに、決して受け身ではない。若い開拓者たちの「夏祭」でした。

# “開拓者”

## 第二十二回大学祭

### にぎやかに開催

第十二回大学祭「夏祭」は去る五月九日(土)から十七日までの九日間、にぎやかに開催されました。今回のテーマは「開拓者」。九日(土)の六号館ビロテイでの前夜祭をかわりに、大学祭実行委員の企画運営による、盛りだくさんの日程で、学生による、学生のための祭典が随所でくりひろげられました。

夏祭「たけざい」の幕明けは九日の前夜祭から始まりました。一般の人々……など、多くの見られ、この日は午前中の授業が終れば、学生も教職員も一緒にタタタッが飲めることや、他にもクラブのタキシードや、手合いにきてくれた女の子がかわいかったり……など、ルンルン気分がみなぎっていました。

十日(日)は名古屋市の名物にもなっている注目の仮装行列です。二十数台のマスコットが市内の中心、白川公園を出発地として栄町辺をわり歩き、買い物客の目をひいていました。



さて、常に知識を深めたいという、向学心に富む学生さんたちのための「工学展」も、各卒研室にて開催。日頃はみられない実験や研究発表など、わかりやすい解説までついていたりあつて、一般参加者も気軽に見学していました。

異色だったのは白水校舎での「子供の国」。巨大な迷路の出現や遊びがいつぱいで、子供と一緒に楽しんでもう大人たちも。

いよいよ十七日(日)の最終日。広い構内も女子大生ややお茶会などで、華やかムードがたぎります。そして落語研究会による「大同寄席」。ミュージック・フェスティバル。白バイ隊員も指導するライディング・スクール。ダンス部のダンスなど、クラブメンバーによる「夏祭」特別企画が所狭しと並んで大に盛りあげた。

## 夏期休暇は 七月一日から

大同工業大学における今年度の年間日程は若干の変更はありますが次の日程にて実施いたします。

7/9	在学生ガイダンス
7/10	健康診断・受講表受付
7/11	入学式
7/13	14新入生ガイダンス
7/15	健康診断・諸手続き
7/16	開講(二年生以上)
7/26	合同ハイキング
7/25	9/17大学祭期間

## 昭和六十二年度行事日程

6/13	(土) 支部長会
6/14	(日) 総会
6/28	(日) 7/26(日) 大学との懇談会
9/18	水 地方懇談会(地区)
12/2	水 三夜会

## 後援会から 父兄のみなさまへ

### 昭和六十二年度 行事日程

日頃はひとかたならぬお世話になっております。本年度の行事日程は次のとおりですので、よろしくお願ひします。

5/7	木 三夜会
5/15	火 会計監査

### 主たる事業内容

- 学生便覧作成
- '87 A T T E N T I O N P L E A S E 作成
- 健康診断実施費用援助
- 地方懇談会実施
- 学生会 学生行事に対する援助
- 学生指導関係に援助
- 学生用倉庫新設援助
- ゴルフクラブ、その他が使用する施設の設置
- アメリカ短期留学補助
- 図書館建設に対する積立金

### 地方懇談会 日程

昭和六十二年度の後援会地方懇談会が次のとおり開催されます。

そこで、新入生・父兄のために、この会の主旨等を説明

## 第6回夏季公開講座

内容充実して、4期講座となる

昭和六十二年の公開講座の日程が決まりました。今期は内容充実して4期講座となっています。

詳細は次のとおりです。

7月20日(月)	熱処理技術講座
7月25日(土)	状態図の読み方
8月17日(月)	鋼の変態線図と焼入性
8月22日(土)	工具鋼の熱処理
8月28日(金)	実験実習 ほか

## 昭和62年度 地方懇談会会場一覧

地区	期	日	会場名
愛知	6月28日(日)		名古屋第一ホテル(名古屋)
中国	7月4日(土)		岡山ターミナルホテル(岡山)
四国	7月5日(日)		グランドパレス徳島(徳島)
九州	7月5日(日)		鹿児島観光ホテル(鹿児島)
東北	7月11日(土)		ホテルサンルート長岡(長岡)
岐阜	7月11日(土)		ホテルサンルート岐阜(岐阜)
長野	7月12日(日)		松本 急イーン(松本)
北陸	7月12日(日)		金沢 都ホテル(金沢)
三重	7月18日(土)		ホテルサンルート津(津)
近畿	7月19日(日)		大阪 阪神(大阪)
静岡	7月26日(日)		グランドホテル浜松(浜松)

遠方の父兄は、大学の様子、後援会の活動状況、及びご子息の勉学の様子など、大方において不明でありますので、昭和五十四年度から後援会地方懇談会を各地で開催して、後援会の活動状況や大学での現状を報告し、意見交換を行うと共に、会員相互の親睦を深めています。

この会には後援会役員と大学の教職員が参加いたしますので、ご子息の現状や将来について、ご父兄各位と話し合う機会を設け、ご子息の健全な育成に役立てさせていただきます。

ご参加を期待しています。

第三期(8月10日)  
第四期(8月18日)  
申込先  
教務課 名古屋南区滝春町10-3 ☎052612-6111(代)

# 学術

ドイツの建築家ブルーノ・タウトの著書「日本の再発見」の中で、「泣きだくなるほど美しい」「アテネのアクロポリスにも比すべきである」と絶賛されて以来、桂離宮は一躍その価値が認められたことは今更申すまでもないことである。創建以来はじめての解体修理工事は昭和五十一年七月二日着工された。即ち古書院目見台を私共の手によって取外すことから開始されたのである。その時私の脳裏には学生時代はじめて参観してその簡素の美に感激したことが思い出されてきた。日本建築の至宝である桂を解体修理する仕事は時代はめぐって私の仕事になろうとは予想もしなかつたことであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返



## 桂離宮の修復について

### 建設工学科建築学専攻 教授小幡祥一郎

すことを余儀なくされることも必至、そんなことは容易に許されない国の会計経理の中で、障害ばかりが頭に浮かぶ。所謂現場の仕事は宮内庁宮事事務所の担当であった。当時私は宮内庁で皇居をはじめ、各地の皇室内土・建築物の管理をしていたのでこの仕事についても全般の企画指導に当たるが任務だった。



桂離宮を背に、小幡祥一郎教授

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

桂離宮は十七世紀初頭の元和年間(八条宮初代智仁親王)によって創建され、二代智忠親王及び三代徳仁親王によって増築改修が行われ、今日見ると全貌が完成した。後に桂宮と改称されたが、廃絶したところであり緊張と重圧感を身に覚えていた。誰も経験したことのない難工事になることは必至、試行錯誤を繰返

## 学科紹介

### 機械工学科

#### 教授 安藤 善司

機械工業はすべての産業の基礎である。各種機械の製造運用はもとより、鉄鋼金属、電機、電子、建設、化学工業から農林、運輸、通信に至るまで、あらゆる分野に密接な関係をもっている。事実、本

学科の卒業生は広く各分野で活躍している。そのために本学科では、材料力学、熱工学、流体力学、機械力学、材料科学、機械工作のようないくつかの基礎科目を重点的に修得した知識を実験、実習、設計製図などで実証し、その上で、設計製図の確実にするという方針をとってきたが、まことに当を得たものである。

## 昭和62年度 日本建築学会東海賞 佐藤達生講師が受賞



日本の建築界にあって、権威ある「日本建築学会賞」の昭和62年度東海賞、論文部門に、本学建設工学科建築学専攻の佐藤達生講師が受賞しました。

「ゴシック空間の形成過程に関する研究」6分ウオールトの問題からの考察、というが題名。佐藤講師の研究は、独自の形態分析によって初期ゴシックの特異現象を解明すると共に、クルド・フランスの建築的特徴を二層明確にしたというが、その受賞理由。

大同工業大学同窓会は、昭和42年3月に第一回卒業生を会中です。このような状況の中で、同窓会創立20周年記念事業を我ら同窓生の手で大いに盛り上げ、成功させたいと節目を向かす、本同窓会委員は七五〇名に達し、その活動の場は中部圏を中心に全国各地に及んでいます。同窓会では、多くの会員諸氏の協力を得、会報の発行、名簿の発行、各支部活動の促進、募

同窓会創立20周年記念式典 本年11月1日 野村重信 事務局長

本年四月、「カリキュラムと教育に関する基本問題」について検討するため、審議会の下部組織として、「カリキュラム等委員会」が設置され、すでに四回委員会を開催、委員の間で随意な意見の開陳が行なわれており、今後二回のペースで審議を続けることになっている。

第2回の委員会の冒頭では、とくに出席された学長、副学長、本委員会に対する大きな期待が述べられた。

本学では昭和三十九年開設、開学当初より産学一体、実学尊重を教育目標に掲げ、きめ細かい教育の実施に総力を傾けてきた。この教育方針は社会の需要にフィットし、有為の人材を多数社会に送り出すことができた。その間あらゆる面で、無から有を造り出した努力、職員のたゆみない研鑽努力は高く評価されるべきである。

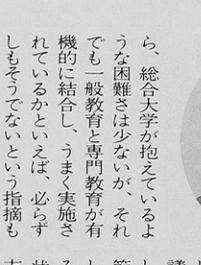
二十年間に社会状況も、高度成長期を経て、昨今の円高ドル安時代まで大きく変化、本学においても二、三数年、喜ぶべき志願者の激増を来した。これら状況の変化は、本学教育目標には変化を与えないものの、カリキュラムや教育実施内容については、見直しも必要とするに至っている。本学では今日まで、カリキュ

ラムについては、時間割編成の手直し程度に止まっていた。工業大学としての基本的立場から、急激に発展する工業技術への対応、および学生気質の変化と、その背後にある社会における価値観の変化への対応、ともにこらなければならない。

## カリキュラムの検討始まる

### —カリキュラム等委員会設置—

教務部長 田中 保



ら、総合大学が抱えているような困難は少ないが、それでも一般教育と専門教育が有機的に結合し、うまく実施されているかといふは、必ずしもそうではないという指摘も少なくない。現在の本学方式は、専門教育が一般教育の行なわれている、一、二年次にも開講されている等いわゆる「くさび型」である。このような方式の他に、他大学では専門教育が、一、二年次の一般教育と平行して行なわれる代りに、三、四年次

に一般教育が専門教育と共に開講されている。相互乗入れ型。また四年間を両教育を別々に行う二期間に峻別し、くさび、や、相互乗入れを認めない、横割型。さらには、四年間を両教育を別々に行なう二期間に区切らず、それぞれに属する科目を適切と考えられる時期に開設する「四年一貫教育」など各種のものがある。本年の立場で各方式の利害得失を考えてみることも必要であろう。

本学に入学者の学生の資質を踏まえ、卒業後の就職状況を考えた上で、いかに教育を実施するか、問題は多く、その解決はむずかしい。委員会は拙速主義はとらず、学料の利益代表的立場を脱却し、問題一つずつキチンと論議を尽くし、その内容はしばしば審議会に戻して討議し、節目節目には教授会にも報告し、意見を求めるつもりである。本紙上にも折をみて討議状況等伝えたい。何卒学内各方面から御援助、御協力を賜わりたい。

御意見等左記委員までお寄せください。事務局長 野村重信 教務部長 田中保 委員 長有馬教授、榎教授、石川教授、星野助教授、山口助教授、五島助教授、大家講師

皆さんの会員に参加していただけるよう、各支部、研究室、OB会、クラブ、サークル、OB会、同期会などの世話人に呼びかけ、盛大な記念式典を開催すべく、現在着々と組織作りに取り組んでいます。組織作りには、現在着々と組織作りを取り組んでいます。組織作りには、現在着々と組織作りを取り組んでいます。

人事

四月一日付

◆金谷正四郎  
学長兼務を解く

◆藤原 達雄  
任大同工業大学学長

◆新任  
山寺秀雄 任教授

◆若林嘉一郎 任教授

新任者紹介

河野良治郎



河野良治郎教授  
一般教養(化学教室) 山寺秀雄



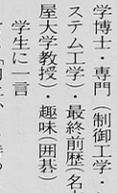
山寺秀雄教授  
一般教養(化学教室) 山寺秀雄



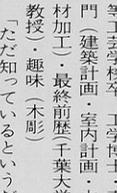
山寺秀雄教授  
一般教養(化学教室) 山寺秀雄

退任者紹介

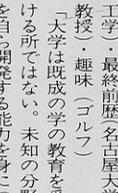
河野良治郎



河野良治郎教授



山寺秀雄教授



山寺秀雄教授

退任に際して

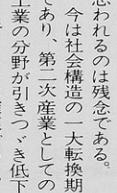
河野良治郎



河野良治郎教授

視野の広いマルチ先生として

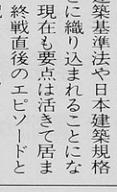
河野良治郎



河野良治郎教授

学生課

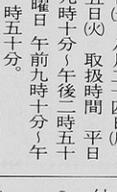
河野良治郎



河野良治郎教授

掲示板

河野良治郎



河野良治郎教授

情報処理センター

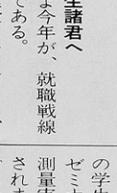
河野良治郎



河野良治郎教授

図書館

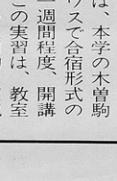
河野良治郎



河野良治郎教授

就職指導課

河野良治郎



河野良治郎教授

教務課

河野良治郎



河野良治郎教授

夏季休暇行事

河野良治郎



河野良治郎教授

夏季補講

河野良治郎



河野良治郎教授

編集後記

河野良治郎



河野良治郎教授

退任に際して

河野良治郎

